

公共交通計画とタクシーの関係について

- 高齢者や障害者の中にはバスを利用できない人もおり、バスのみでは住民の生活に必要な移動を保障することが困難なため、町内のタクシーの現況や町のタクシー利用料金補助事業を記載し、今後策定する地域公共交通網形成計画では、タクシーの活用・連携について検討する。
- まちづくりと一体となった公共交通の再編のための手段として、必要に応じて検討していく。
- 障害者等移動制約者の輸送や高齢者を対象としたタクシー券助成などの移動支援施策の推進にあたり、タクシー事業者が行政に対し、利用促進や事業改善に関する提案を行うよう求める。
- 乗合タクシー、デマンド運行等による対応等、タクシーの活用の可能性を検討する。

タクシーに期待することについて

- 高齢者や移動に制約のある方など、公共交通では対応困難な方がタクシーを利用する場合、公共性の高い移動手段と考える。
- 深夜や緊急時に路線バスやコミバスでは対応できない時間帯での住民への交通サービスの提供を期待する。
- 市内主要駅でのタクシー乗り場の増設など、コミュニティバスの補完としての役割を期待する。
- 利用促進や事業改善に関する提案を期待する。
- 定時定路線で運行しているバスとは違い、色々な交通モードでの組合せができる交通機関、その部分は大いに期待できる。
- ICカード対応等、顧客のニーズに応じたサービスの提供を期待する。

タクシーへのご意見について

- 円滑な交通や安全への影響を考慮すると、繁華街や鉄道駅等への集中、客待ち車両、交差点内での乗降などにおける課題に対応していく必要がある。
- 重要な交通機関と捉え、バスを補完して全ての町民に移動手段を保障するため、さらに使いやすいタクシーにしてほしい。
- 全国には様々な工夫をして利用促進に取り組んでいる地域もあり、当地域のタクシー事業者からも積極的に使いやすいサービスを提案してほしい。